

(様式1)

平成30年度 学生の自主的活動プロジェクト企画書

申請者	氏 名	川 功行
	学 籍 番 号	
	学部・研究科名, 学年	

プロジェクトの名称	みんなの拠点リノベーション	申請金額
		200,000円
プロジェクト団体名	日曜大工部	
目的・理由	日常生活において、家具や小物を自作したいと考えた場合、それを作る場所や道具、技術をそろえることが大変難しく、騒音等の問題も発生するため実行に移すことができない。これは建築学科の人も同じであり、実物に触れる機会が乏しいと聞く。そこで、今後大学の拠点として活用する空き家のリノベーションをはじめ、地域の木材の利用方法の拡大を検討している企業と協力し家具を作る場を設けるなど、日曜大工のようなことができる機会を設け、実現可能であることを伝えたい。	
活動概要	学生を大学の新しい拠点もしくはグリーンパワーうんなんの敷地内に一緒に行き、拠点のリノベーションや拠点におく家具等をはじめ、それぞれが作りたい家具や小物を作成する。その場に地域住民の人に声をかけるほか、技術を持っている地域の方に協力をいただくことで作成を実現に近づけるとともに地域住民との交流を図る。	
主な連携先 (予定を含む。)	グリーンパワーうんなん合同会社 TEL:0854-49-8755	
連携する内容	家具の作成および相談	
アドバイザー教員	所属部署	氏 名
	生物資源科学部	高田 晋史
期待される効果	これにより、大学生はこんなものを作ってみたいということを実現させる機会を得られるほか、地域の方々との交流を図ることができる。地域に対しては、その企業の敷地内で作業ができるということを宣伝することができ、地域の木材の新たな利用を促進することができると思う。また、大学の拠点のリノベーションを行うことで、学生に対しては地域に赴き活動するきっかけとなり、地域住民に対しては近所に大学の支部ができ、交流の場や相談の場、集まる場として認知されていくきっかけとしていきたい。	
成果の公表方法	Facebook、拠点での報告会	

- ※ 1)これまでに関連する取組みや実績が紹介された記事など、参考となる資料があれば添付すること。
2)備品等はカタログ、見積書を添付すること。

アドバイザー教員印	申請者印

みんなの拠点リノベーション

日曜大工部

目次

- 活動目的
- 活動拠点
- 主な連携先
- 活動内容
- 今後の方針

活動目的

現在、地域で活動する学生の問題点として、学生自身に軸となるようなものがないことが挙げられる。



本活動では、一軒家のDIYなどを通して、建築をテーマとするような学生の実践ができる場を作る

地域と交流し続けることのできる場を作る

活動拠点「島根大学雲南フィールドステーション」



2018年6月オープン

地域の方が気軽に訪れ、情報交換や相談をする場、学生活動の拠点をして機能している。



駅から徒歩3分

Google

主な連携先

グリーンパワーうんなん合同会社
有限会社三ツ和
渡辺製材所

これまでの活動

建築面

before

after

①内装

・天井、壁塗り





建築面

②DIY

- 机作成
- 看板作成
- 棚設計





予算交渉中

...

建築面

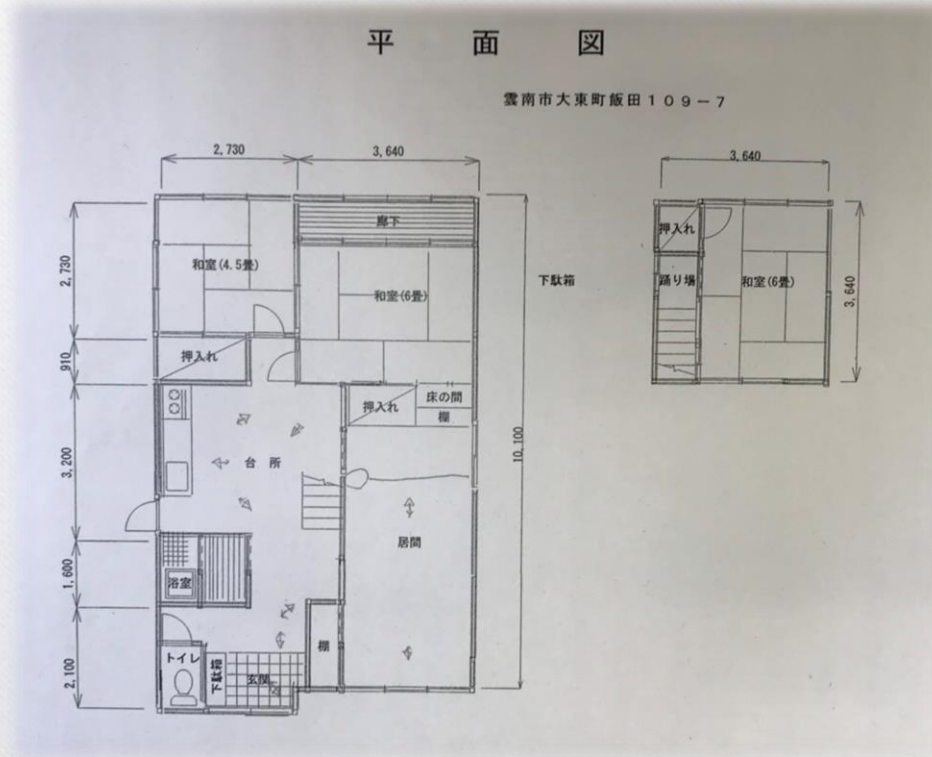
③庭

- ・農業化
- ・ウッドデッキ取り壊し

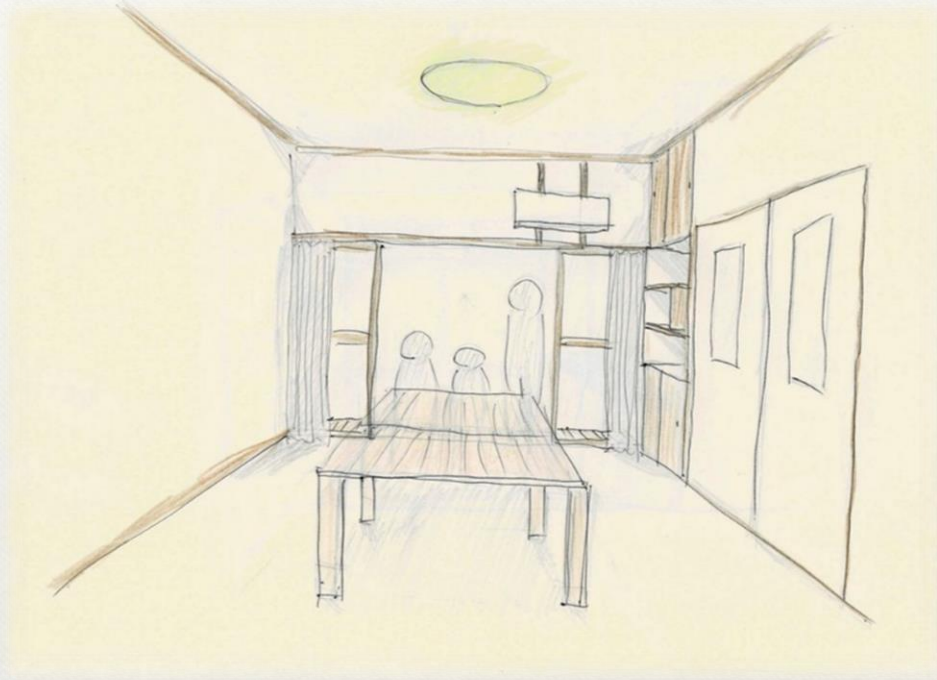


各部屋のデザイン

- ①居間
- ②玄関
- ③台所



①居間



・窓側にウッドデッキ

↳開放的な雰囲気演出

・シーリングライト

↳部屋全体を明るく
広々空間の演出



①居間



- 窓の棚

- ↳意味のない窓を生かす
照明を設置

- パーテーション

- ↳事務所と居間の仕切り
人の気配、明かり、風が通る
本棚としての利用



② 玄関



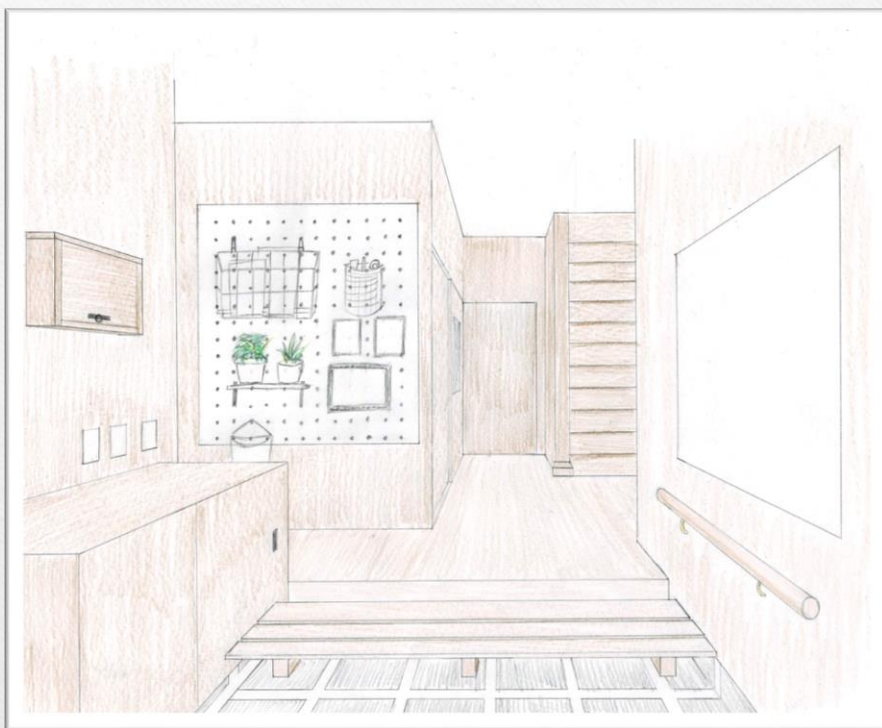
•ペンダントライト

↳初めのオシャレな印象

•左の壁のホワイトボード

↳月間のスケジュールや、
地域のお知らせを掲載

②玄関



タイルシート、ブレーカー隠し

↳オシャレな印象付け

足場

↳段差の軽減

有孔ボード

↳殺風景な壁の有効活用

③台所



- 上部の棚
 - ↳ 見せる収納
- キッチンタイル (緑、白)
 - ↳ 清潔感のある印象
- ペンダントライト
 - ↳ カウンターとの相性◎



③台所



・窓のすだれ

↳直接光軽減

空間の雰囲気

・カウンター、椅子

↳可動式で使い勝手◎

・流し台の下

↳木目調にし、空間統一

今後の方針

各部屋ごとのイメージを具体化していき
実行に移す

この拠点に関わってくれるような地域の
協力者を増やしていく